

うつのみや



社協だより

平成24年4月20日発行

編集発行 144号

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-shakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索

ボランティアセンターが推進する福祉共育事業

ボランティアセンターでは、子どもから大人まで互いに学びあい、教えあい、共に成長していく力を育む「福祉共育」を推進するため、様々な事業を実施しています。



身体障がいの理解(車イスを使った福祉体験の様子)



聴覚障がいの理解(手話体験の様子)

出前福祉講座

学校や地域の団体・企業などに、障がいのある方が講師として出向き、講話や体験などを中心とした障がいに対する理解を深めるための講座を行っています。(身体・視覚・聴覚障がいの理解など)



福祉共育サポーター養成講座

『障がい』への理解を深め、出前福祉講座を応援(サポート)していただけるボランティアの養成講座を開催しています。



ぼらんていあSaturday

ボランティア活動をはじめのきっかけづくりを目的に、視覚障がいのある方と電車を利用して外出するなど、実際にふれあいながら互いの理解を深める講座を開催しています。

～ボランティアセンターの運営と各種事業には、社協会費が活用されています～

“うつのみや社協だより”は、「回覧」です。よろしくお願い申し上げます。

平成24年度 宇都宮市社会福祉協議会 事業計画・予算

3月13日開催の理事会、3月29日開催の評議員会において、平成24年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

本会では、住民参加を主体とした地域福祉活動を推進する団体として、誰もが住み慣れた地域や家庭で自立した心豊かな生活が送れるよう、ともに支えあい助けあいながら、安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指して、地域福祉の推進に努めています。

今年度は、地域におけるネットワークを構築するための新たな事業を展開し、より一層の福祉の増進を図ります。



事業計画

1. 地域福祉活動の推進

(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現

- | | |
|--|--|
| <p>ア. 地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティワークの推進 ②福祉協力員活動の促進 ③ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進 ④敬老会開催の支援 ⑤地区福祉まつり事業の促進 ⑥地区社協だよりの発行の促進 ⑦男性高齢者調理講習会開催の促進 ⑧ふれあい・いきいきサロン設置の促進(※新規事業) ⑨安心・安全情報キットの配布の促進(※新規事業) ⑩第3次地域福祉活動計画の策定(※新規事業) | <p>イ. 市社会福祉協議会の地域福祉事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ファミリーケアサービス事業の推進 ②総合相談センター機能の強化 ③福祉理美容出張補助サービス事業の推進 ④ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進 ⑤福祉車両貸出サービス事業の推進 ⑥車イス等貸出サービス事業の推進 ⑦福祉機器・介護用品展示室の開設 ⑧援護事業の実施 ⑨社会福祉資金貸付事業の実施 ⑩移送サービス事業の推進 ⑪在宅介護者のつどいの開催 |
|--|--|

(2) ボランティア活動・市民活動の推進

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティアの養成と活動の推進 ②ボランティア団体への活動支援 | <ul style="list-style-type: none"> ③出前福祉講座および福祉共育の推進 ④災害ボランティアセンター機能の強化 ⑤善意銀行事業の推進 |
|---|---|

(3) 地域福祉を支える基盤の整備

- | | |
|---|---|
| <p>ア. 関係機関・団体等との連携・協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自治会・民生委員児童委員協議会など
関係機関との連携・協働の推進 ②福祉団体などとの連携・協働の推進 ③福祉施設・事業所などとの連携・協働の推進 | <p>イ. 地域福祉活動への参画促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広報・啓発活動の強化 ②財政基盤の強化 ③福祉に関する情報発信機能の充実 |
|---|---|

2. 介護保険事業の推進

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①訪問介護事業の運営 ②通所介護事業の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ③訪問入浴介護事業の運営 ④居宅介護支援事業の運営 |
|--|--|

3. 指定管理施設及び受託事業等の管理運営

- | | |
|--|--|
| <p>ア. 指定管理施設の管理・経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ①老人福祉センターの管理・経営(5施設)
ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘
すこやか荘・上河内老人福祉センター ②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)
雀の宮作業所・若草作業所
障がい者福祉センター ③総合福祉センターの管理・経営(2施設)
宇都宮市総合福祉センター
河内総合福祉センター ④茂原健康交流センターの管理・経営 | <ul style="list-style-type: none"> ②地域包括支援センター事業の実施
地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター ③日中一時支援事業の実施
あっとほーむ すずめ・うだい・かわち ④訪問介護員養成研修事業の実施 ⑤身体障がい者福祉バス事業の実施 ⑥ゆうあいひろばの管理・運営 ⑦奉仕員養成講座の実施(手話・点訳・音訳) ⑧要約筆記者派遣事業の実施 |
| <p>イ. 市からの受託事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障がい者生活支援センター事業の実施
総合福祉センター・子ども発達センター | <p>ウ. 県社協からの受託事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施 ②地域福祉権利擁護システム整備モデル事業の実施(※新規事業) ③成年後見制度研修会の実施(※新規事業) ④生活福祉資金貸付事業の実施 |

収支予算

(1) 一般会計

①法人運営	269,306千円
②福祉活動推進事業	40,961千円
③ボランティアセンター事業	12,223千円
④善意銀行事業	900千円
⑤総合相談センター事業	4,305千円
⑥権利擁護センター事業	9,368千円
⑦ごんなん基金事業	182,247千円
⑧訪問介護事業	64,038千円
⑨通所介護事業	39,723千円
⑩障がい者居宅・生活介護事業	14,494千円
⑪共同募金配分金事業	40,825千円
⑫訪問介護員養成研修事業	2,121千円
⑬老人福祉センターの運営	202,350千円
⑭障がい者福祉センターの運営	36,307千円
⑮心身障がい者作業所の運営	42,584千円
⑯障がい者生活支援センター事業	18,900千円
計	980,652千円

(2) 公益事業特別会計

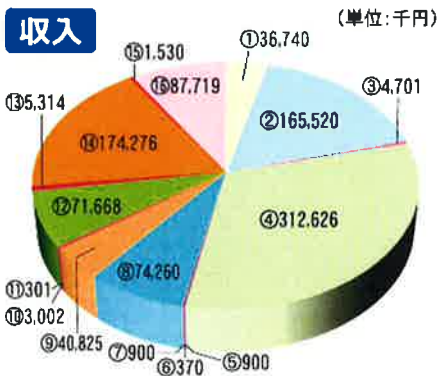
①宇都宮市総合福祉センターの運営	70,364千円
②河内総合福祉センターの運営	48,153千円
③茂原健康交流センターの運営	124,984千円
④地域包括支援センター御本丸の運営	32,558千円
⑤上河内地域包括支援センターの運営	27,523千円
⑥ファミリーケアサービス事業	9,208千円
⑦身体障がい者福祉バス事業	8,949千円
⑧居宅介護支援事業	19,024千円
⑨日中一時支援事業	23,204千円
⑩移送サービス事業	1,006千円
⑪ゆうあいひろばの運営	19,998千円
計	384,971千円

(3) その他の特別会計

①生活福祉資金貸付事業	8,902千円
②社会福祉資金貸付事業	3,116千円
計	12,018千円

(1) 一般会計

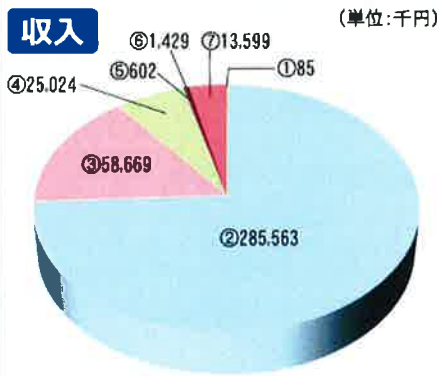
980,652千円



- ①会費収入 ②補助金収入 ③寄附金収入
- ④受託金収入 ⑤助成金収入 ⑥負担金収入
- ⑦利用料収入 ⑧介護保険収入
- ⑨共同募金配分金収入 ⑩受取利息配当金収入
- ⑪雑収入・事業外収入 ⑫経理区分間繰入金収入
- ⑬会計単位間繰入金収入 ⑭積立預金取崩収入
- ⑮その他の収入 ⑯繰越金

(2) 公益事業特別会計

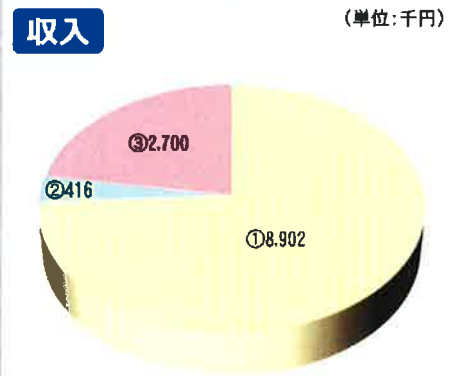
384,971千円



- ①会費収入 ②受託金収入 ③利用料収入
- ④介護保険収入 ⑤雑収入・受取利息配当金収入
- ⑥会計単位間繰入金収入 ⑦繰越金

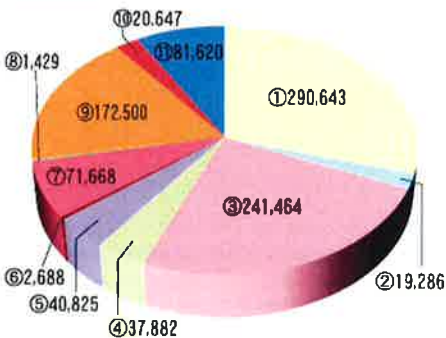
(3) その他の特別会計

12,018千円



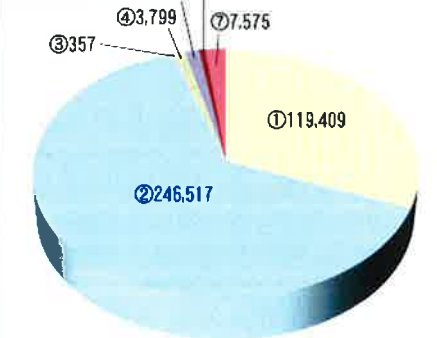
- ①受託金収入 ②貸付事業収入 ③繰越金

支出



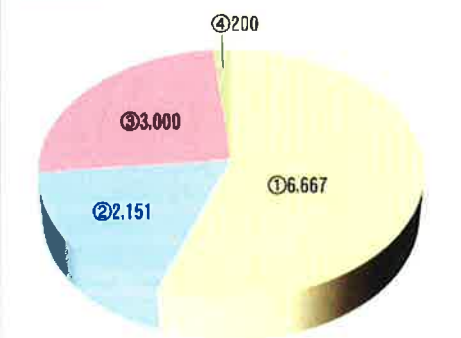
- ①人件費支出 ②事務費支出 ③事業費支出
- ④助成金支出 ⑤共同募金配分金事業費支出
- ⑥負担金交付金支出 ⑦経理区分間繰入金支出
- ⑧会計単位間繰入金支出 ⑨積立預金積立金支出
- ⑩その他の支出 ⑪予備費

支出



- ①人件費支出 ②事業費支出
- ③負担金交付金支出 ④返還金支出
- ⑤会計単位間繰入金支出 ⑥積立預金積立金支出
- ⑦予備費

支出



- ①人件費支出 ②事業費支出
- ③貸付事業等支出 ④固定資産取得支出及び繰入支出

「福祉協力員研修会」を開催しました

福祉協力員の活動を促進するために、それぞれの地域にあった福祉課題をテーマとして取りあげ、ブロックごとに研修会を開催しました。

福祉協力員とは、同じ地域で暮らす住民として見守りや声かけを行うなど「住民相互の支えあい運動」を推進している地域のボランティアです。「ふれあい会食会」や「地区まつり」などでも活躍しています。



各ブロック別 研修会概要

東部ブロック

(今泉・城東・泉が丘・峰・陽東・石井・平石・清原地区)

日時 平成24年1月11日 PM1:30~PM3:30

参加者 147名

講師 佐野短期大学 教授 山田 昇氏

内容 講演「考えてみよう。ふれあい・いきいきサロンの魅力とは！」

西部ブロック

(桜・富士見・明保・宝木・姿川・城山地区)

日時 平成24年2月29日 PM2:30~PM4:30

参加者 104名

講師 東北福祉大学 教授 田中 治和氏

内容 講演「福祉サービスの利用者は誰でしょう？」



北部・上河内・河内ブロック

(御幸・御幸ヶ原・豊郷・戸祭・細谷・国本・富屋・篠井・上河内・河内地区)

日時 平成24年2月17日 PM1:30~PM4:30

参加者 171名

講師 宇都宮市まちづくりセンター

センター長 安藤 正知氏

内容 講演「向こう三軒両隣の地域社会を目指して」
～できることからみんなで地域づくり～
／パネルディスカッション
(地域で活躍されている3団体[地区社協・ボランティア団体・地域包括支援センター]代表者より)



中央ブロック

(中央・築瀬・西・西原・昭和・東・錦地区)

日時 平成24年3月8日 PM2:00~PM4:30

参加者 75名

講師 宇都宮大学 教授 廣瀬 隆人氏

内容 講演「東日本大震災の教訓から考える地域づくり」
／グループディスカッション「リメンバー3.11」

南部ブロック

(宮の原・陽南・緑が丘・陽光・五代若松原・雀宮・横川・瑞穂野地区)

日時 平成24年3月23日 PM1:30~PM3:30

参加者 184名

講師 大門社会福祉士事務所 所長 大門 亘氏

内容 講演「地域で見守る“その人らしさ”
～成年後見制度について～」

参加者の皆様からたくさんの声をいただきました

自治会集會場でサロン設立準備中なので、今回の研修は参考になった。

人や社会のせいにはせず、皆ができることからやる大切さを学んだ。

地域の中で、民生委員と福祉協力員の連携が必要だと思いました。

自治会でいきいき教室を開催しているが、研修を受けてさらに充実させたいと感じました。

他地区の取り組みをもっと知り、交流をしたい。

地域づくりに挑戦したいと思いました。

「向こう三軒両隣」の地域社会の実現のために、福祉協力員の活動はとても重要なものです。今回の研修会には多くの福祉協力員が参加し、サロンや各種制度、また具体的な地域づくりなどについて学ぶとともに、各地区の取り組みなどについて、情報交換・意見交換が活発に行われ、今後の活動につながるとても有意義な研修会となりました。

地区社協活動紹介コーナー

各地区において取り組んでいる地域福祉活動(事業)について、ご紹介します。

《お問合せ》 地域福祉課

TEL 636-1215

FAX 610-6605



姿川地区 社会福祉協議会

姿川地区は市の南西部に位置し、名前の通り「姿川」が流れ、地区内には老人福祉センターすこやか荘、総合運動公園やグランディ科学ランドなどの施設があります。また、JR鶴田駅と、東武西川田駅の二つの駅を有しており、交通の便もよい暮らしやすい地区です。

地域の活動としては、まちづくり協議会による地域まちづくり計画『将来ビジョン』が作成され、さらに住みやすい町へと、住民自らが協力しあい活動しています。

～姿川地区合同研修会～

姿川地区社協主催で2月19日に福祉協力員、自治会長、民生委員を対象に研修会を行い、100名以上の地域の方々に参加をいただきました。姿川地区社協では、毎年1回、福祉の講演会を開催し、地域ぐるみで福祉の知識と理解を深めています。今回は、「期待される姿川の地域福祉」と題し、元市社協事務局次長の佐藤貞宣氏の講演と自治会、民生委員、福祉協力員の活動発表が行われました。



～河内地区社協との交流研修会～

河内地区社協の役員の方々が、3月5日に姿川地区社協へ視察に来られ、それぞれの地域の実情や、地区社協の活動状況などについて意見交換をしながら交流しました。話しあいの中では、地域の住民とおしのつながりや、関係機関との連携の重要性を改めて確認することができました。

横川地区 社会福祉協議会

横川地区は、市南部に位置し、最近ではインターパーク（大型商業施設及び新興住宅街）ができ、よりいっそうの発展を遂げている地区です。地区内には、老人福祉センターことぶき会館や屋板運動場など、市の公共施設が数多く設置されています。

地域の活動としては、自治会活動も盛んでサロン事業や敬老事業などを積極的に展開しています。

～横川地区福祉協力員視察研修会～

福祉協力員活動の促進、また情報交換・意見交換を目的に、7月5日に県南の岩府町「静和2地区」社協の「サロン」の視察研修会を行いました。

静和2地区は、静和小学校の空き教室を活用してサロン事業を実施しており、参加される高齢者と児童との、世代間交流が推進されています。地域の各団体（地区社協・自治会・老人クラブ・民児協等）が連携・協働して開催している運営形態は、横川地区における小地域での支えあい、助けあい活動を推進するために、大変参考になりました。



～横川ふれあいまつりで福祉用具展示コーナーを開設～

11月12日～13日に横川地区市民センターで行われた「第35回横川ふれあいまつり」において、「福祉用具展示コーナー」を開設し、来場者の方に福祉用具のご案内と福祉情報の提供を行いました。

また、まつりの寄附金及び益金の一部、合計60,080円を、地域福祉に役立てるために、市社協の「ぎんなん基金」に寄附しました。

ボロロロ
情報コーナー

絆づくり

防災講演会を開催しました



演題「釜石市の防災教育から考える“地域福祉”」
～大津波から命を守った児童・生徒の主体的行動に学ぶ～

第1部 活動報告会

「東日本大震災における
宇都宮市社会福祉協議会の取組み」

第2部 絆づくり防災講演会

講師：片田敏孝氏
群馬大学広域首都圏防災研究センター長
群馬大学大学院工学研究科 教授



東日本大震災の発生から約1年を経た平成24年3月24日、とちぎ健康の森・講堂において、東日本大震災をきっかけに関心が高まっている、「支えあい」「助けあい」を基本とした「絆づくり(地域福祉)」と「防災」について考えることを目的に、栃木県社会福祉協議会と共催で開催しました。

第1部の活動報告会では、東日本大震災における宇都宮市社協の取組みの報告をはじめ、東北地方の被災地での災害ボランティア活動に参加した3名(社会人・高校生・聴覚障がい者)の方から、参加の動機や今後に向けた思いなどを発表していただきました。

第2部の防災講演会では、岩手県釜石市で平成16年から子どもを中心に防災教育を行ってきた片田敏孝先生を講師にお迎えし、東日本大震災における釜石市の児童・生徒の避難行動の事例を中心に、日頃からの「声かけ」「見守り」の大切さについてご講演をいただきました。

参加された方々からは、「まだまだ助けを必要としている自治体や人がたくさんいると思うので、私自身少しでも力になりたい。」「防災教育によって地域の絆が作れることがわかった。自助・共助の大切さを実感した。」といった感想が寄せられました。

平成24年度
予定

ボランティア養成講座



ボランティアセンターでは、下記のとおり平成24年度の各種ボランティア養成講座の開催を予定しています。講座の詳細や申込方法などは、随時「社協だより」「ボランティアセンターホームページ」「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆様のご参加をお待ちしています。

テーマで学んでみたい方

講座名	実施予定
災害福祉救援ボランティア養成講座	6月～7月
サマーボランティアスクール	7月～8月
傾聴ボランティア養成講座	9月
コミュニティフレンド養成講座	H25. 1月
福祉共育サポーター養成講座	H25. 2月

まずは体験したい、知りたい方

講座名	実施予定
ぼらんていあ Saturday ～視覚障がいの理解～	7月
ぼらんていあ Saturday ～発達障がいの理解～	12月
ぼらんていあ Saturday ～精神障がいの理解～	H25. 1月
エコキャップ運搬体験 ボランティア	毎月1回



災害福祉救援ボランティア養成講座



ぼらんていあ Saturday～発達障がいの理解～

《お問合せ》 ボランティアセンター

TEL 636-1285

FAX 634-2870

福祉教育 共育
シリーズ

第3回

視覚障がい — Part.3 —

『視覚に障がいのある方の手引き(誘導)の方法①』

シリーズで掲載している福祉教育(共育)ですが、前号に引き続き、視覚障がいについてご紹介します。



手引き
(誘導)の
基本姿勢

視覚に障がいのある方を手引き(誘導)する場合には、誘導者の肘や肩のあたりを軽く触れてもらい、半歩前を歩くようにすると、角を曲がる場合など体の動きでその場の状況の変化が分かります。

また、「右に曲がります」「昇り階段です」など、状況の変化を具体的に声で伝えることも大切です。

◎良い例



◎白杖を持っていない側に立ち、肘に軽く触れてもらいます。



◎階段では、一度立ち止まり、「昇り階段」か「降り階段」かを具体的に伝えてから進みます。



◎身長差がある場合などは、肩に触れてもらいます。



×後ろから押す(とても怖い思いをします)

×悪い例



×手や衣服を引っ張る



×白杖を引っ張る(白杖は目の代わりとなるものなので、触らないようにしましょう)

手引きの
ポイント

①相手の方に合った手引きの方法で

支援の方法は相手の方によって異なる場合がありますので、必ず相手の方にどのように支援すれば良いか「声をかけてから」行いましょう。

②2人分の幅や高さも忘れずに

手引き(誘導)する際には、常に2人分の幅や高さを考えて移動しましょう。

社協会費は、地域の福祉活動を支えています

平成24年度 社協会員加入のご案内

宇都宮市社会福祉協議会では、地域福祉を推進する構成員として住民、団体、法人のみなさまに会員になっていただき会費のご協力をいただいています。社協会費は地域福祉活動の充実のために欠かすことのできない財源です。本年度も、より充実した活動を展開して参りますので、本会の事業にご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

会員の種類と会費

- ・普通会員（各世帯） 300円以上
- ・団体会員（社会福祉機関・団体・施設） 5,000円以上
- ・特別会員（個人） 1,000円以上
- ・賛助会員（企業・事業所・個人） 10,000円以上

皆様からご協力いただいた会費は…

地区で集めた会費の50%は…

市内39地区社協が行う

- ・福祉協力員による見守り活動
- ・ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業
- ・敬老会事業
- ・その他、地区社協独自の事業などに使われます。



地区で集めた会費の50%と賛助・団体会費は…

市社会福祉協議会が行う

- ・ボランティアセンター事業
- ・総合相談センター事業
- ・ファミリーケアサービス事業などに使われます。

●平成23年度は皆さまから37,462,438円のご協力をいただきました。

ありがとうございました。

ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成24年1月1日～3月31日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)		金額(円)	寄附者(団体)		金額(円)
	匿名	500,000		かましん清原テクノ店	
	なかよし善行ネットワーク	12,213	2	お客様一同	11,240
	代表 宋 美恵		月	ユニー(株) アピタ宇都宮店	80,442
1	カトリック松が峰教会	10,000		築島 時三郎	2,000
	喫茶ぶどうの木			宇都宮市立雀宮南小学校	4,650
月	全国友の会 宇都宮友の会	30,000		栃木県吟詠中部地区協会	10,000
	陸上自衛隊北宇都宮駐屯地	70,540		会長 野中恵夫	
	隊員一同			河内地区長寿88芸能講座	14,710
	築島 時三郎	2,000		万年青会	6,286
	三信電工(株)	12,890		ビッグサンユ一駒生店	9,277
	宇都宮さつき&花フェア	30,000	3	お客様一同	
	実行委員会		月	ことぶき会館 お客様一同	11,116
	第5回宇都宮市民福祉の祭典	195,147		雀の宮山ゆう会	20,000
	実行委員会			すこやか荘 お客様一同	3,080
	雀宮農村生活研究グループ	10,000		ふれあい荘 お客様一同	3,069
	協議会			やすらぎ荘 お客様一同	12,479
	フードオアシス オータニ	15,339		築島時三郎	2,000
	鶴田店 お客様一同			三信電工(株)	17,600
2	ヨークベニマル西川田店	16,314			
	お客様一同				
月	ヨークベニマル若松原店	6,624			
	お客様一同				
	佐々木 康子	4,518			
	銜匠堂宇都宮	12,000			
	栃木美術倶楽部				
	なかよし善行ネットワーク	20,000			
	代表 宋 美恵				
	三信電工(株)	9,700			



平成23年度の寄附総額
累計 14,805,085円
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

車両をご寄贈いただきました

平成24年2月28日、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社MS&ADゆにぞんスマイルクラブ様より、福祉車両をご寄贈いただきました。

この車両は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の役職員の皆様から募った寄附金により購入されたもので、助手席のシートが車外にスライドし、後部荷台に車いすを引き上げる機能が備わった福祉車両です。

ご寄贈いただいた車両は、地域福祉事業の推進に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

